

## 人と村を

## 温かな輪でつなぐ

## 世界遺産の絶品わさび



沢わさびを守る野迫川村林業研究会の皆さん。「わさびのおかげで多くの人が、野迫川村のファンになってくれました」

### 野迫川村わさびオーナー制度

花摘み祭(4月頃)、収穫祭(6月頃)に参加できる。1口につき、わさび10株を保証。

申込締切：12月25日(金) 料金：1口1万円

野迫川村森林組合内 野迫川村林業研究会

☎0747・37・2002 FAX0747・37・2408

生活情報BOX 沢わさび

検索



高級料亭にも出荷される沢わさび。厳しい大自然と山の恵みが溶け込んだ清流で育つ。



海のない奈良に雄大な雲海が広がる。春と秋の早朝に発生しやすい。

熊野古道「小辺路」の半ば。雲海が臨める絶景の里で、人々をうならせる「沢わさび」が育っています。「香りが高く、辛みも強い。世界遺産の伯母子岳の清流が育んだから、」

「世界遺産のわさびやね」と言われるんですよ」と笑みを見せる野迫川村林業研究会の会長津田晃さん。そのわさびも、一時は栽培する後継者がなく消えかけていましたが「大自然の恵みを受けたわさびを廃れさせたらあかん」と一念発起。

「沢わさびを守る会」を立ち上げてボランティアを募ったところ、県内外から人々が参加。荒れた耕地を整え、復興が始まりました。一口1万円の「わさびオーナー制度」も今では4期目。花を摘んでわさび芋を掘って、料理して楽しむ。沢わさびの魅力を満喫してもらう試みが人気です。「どうやって街の人に喜んでもらおうかと悩みましたが、ここならはの恵みが、一番のおもてなしと気づきました。一緒に汗を流して、我々も共に楽しませてもらっています」。

野迫川村は、人口約650人と県内で一番人口の少ない村。都市と村人と人をつなぐ温かな輪の一助を、沢わさびが担っています。このほか、研究会では「キノコ祭り」を企画。野迫川には、わさびのほかにも名物がたくさんあります。一遍、来てみて、食べてみて。そして野迫川村ファンになってもらえたら嬉しいですね」。

## 野迫川村奥高野地区

「野迫川村林業研究会」



雲海景勝地



「奈良・もてなしの心推進県民会議」では、生き生きとした生活や交流を育むまちづくりを実践している地区を、「もてなしのまちづくりモデル地区」として認定。野迫川村奥高野地区もその一つです。



### 野迫川村キノコ祭り

キノコ狩り、キノコ汁振る舞いなど。

時 10月11日(日) 9:00~15:00(雨天中止)

所 タイノ原特設会場 (野迫川村大字北今西)

申込締切10月7日(水)\*先着200人 大人2,500円 子ども1,000円